

住みたい 住み続けたいまち 海老名

2023

令和5年5月1日号

No. 1252

5 / 1

広

報

えびな

- P2 地域防災のリーダー
消防団員募集
- P6 令和5年度予算概要
コロナに打ち克つ、
輝く未来へ飛躍するえびな
- P13 市長タウンミーティング実施報告



海老名市
住みたい 住み続けたいまち



地域防災のリーダー 消防団員募集



☎消防総務課 ☎(231)0355

消防団員は、火災や自然災害などの非常事態から地域を守るための非常勤特別職の地方公務員です。近年、全国的に団員数が減少し続けており、市でも団員数減少のため休団している分団があります。地域を守るためには多くの人の力が必要です。

消防団は必要不可欠な組織です

消防団の歴史は古く、江戸時代の町火消「いろは四八組」が前身とされています。戦後に消防本部ができた後も、消防団は地域防災の要です。東日本大震災や阪神・淡路大震災の際は消火活動・要救助者の検索・救助活動・給水活動・危険箇所の警戒活動など幅広い活動に従事しました。地域の詳細な情報を知っている特性を生かして倒壊家屋から多くの人々を救出したと言われています。

近い将来、海老名市でも大地震の発生が懸念されている中、日頃から地域に密着した活動をする消防団の存在や役割は重要視されています。市民の安全・安心を守るため、多くの皆さまの入団をお待ちしています。



海老名市消防団長
たかぎ 徹さん

消防団Q&A

消防署と消防団の違いは？

消防署は市の消防職員が消防業務に専念するのに対し、消防団は各自の職業・学業と並行して、災害時の活動や平常時の訓練などを行います。

団員の処遇は？

団員は非常勤特別職の地方公務員として身分が保障され、さ

入団するには？

入団は随時受け付けています。市内在住・在勤の18歳以上で健康であればどなたでも入団できます。各消防分団または消防総務課にお問い合わせください。市ホームページでもお知らせしています。

さまざまな待遇や助成制度(4頁)も利用できます。

消防団の活動

平常時

各種訓練

消防署との合同訓練や、資機材取り扱い訓練などをします。



設備の点検・整備

消火栓や消防ポンプ自動車、資機材などの点検・整備をします。

救命講習会・防火防災指導

地域で応急手当の方法や初期消火訓練・避難訓練などの指導をします。



安全運転講習

消防ポンプ自動車の講習会を受講します。

防火啓発活動

火災予防運動期間や年末に消防車で地域を巡回し、火災予防を呼び掛けます。

消防操法大会

消火技術などの向上を目的に市と県が毎年交互に開催しています。



地域活動

地域で開催されるイベントなどのサポートや警戒活動を行います。

消防団のPR活動

市のイベントで、車両展示や記念撮影を行い、消防団のPRなどをします。



災害時

消火活動

建物火災が起きた際に、自宅や職場から現場に駆けつけて消火活動や支援活動を行います。

出動の流れ

①海老名市・座間市・綾瀬市消防指令センターに119番通報が入る

②同指令センターがアプリとメールで出動指令を流す

③出動指令を受けた団員は、分団器具置場を集結し、出動する。火災発生場所の近くにいる場合は状況により直接現地に向かう

④消火活動

救助活動

大規模災害時は、発生直後からいち早く消防署と連携し、救助活動や応急救護活動を行います。

水防活動

資機材を活用した水防工法、住民の避難誘導などを行います。相模川氾濫想定区域での広報活動や残留者確認も重要な役割です。



- 主な年間行事**
- 1月 消防出初式
 - 3月 春季火災予防運動巡回広報活動
 - 4月 辞令交付式
 - 5月 水防訓練(隔年)
 - 7月 消防操法大会(市と県の隔年)
 - 9月 消防署・消防団合同訓練
 - 11月 秋季火災予防運動巡回広報活動
安全運転講習会
 - 12月 歳末火災特別警戒巡回広報活動
- 組織構成**
(令和5年4月1日時点)
- 全体人数 162人
 - 平均年齢 37歳
 - 最年少 18歳
 - 最年長 60歳

概要 海老名市消防団の

本市では15分団・162人の団員が、それぞれの仕事を持ちながら活動しています。

海老名市消防団
公式インスタグラム
ebina.syobo_dan

消防団の活動を写真で紹介しています。



団員が安心して従事できるようにさまざまな待遇や制度があります。

報酬

階級別の年額報酬があります。また、出勤報酬として災害対応は日額8000円、警戒活動は3000円、訓練の参加は2500円が支給されます。

公務災害補償

療養補償や休業補償など、活動中のけがなどに公務災害補償が適用されます。

退職報償金

5年以上在職した場合に、在職年数や階級に応じた退職報償金が支給されます。

表彰

叙位・叙勲や消防長官表彰など、国・県・市からさまざまな表彰があります。

マイカー保険

災害時に分団器具置場などに集結するときに交通事故に遭った場合、自身で加入している保険を使用

することなく、消防団のマイカー保険で保障されます。

被服の貸与

活動に必要な活動服・ヘルメット・編み上げ靴・ヘッドライト・ゴーグルなどが支給されます。

健康診断

消防団活動は、災害活動など身体的負担を伴います。健康意識の向上と疾病による公務災害を防ぐため、自己負担なく健康診断を受けられます。

海老名市学生消防団活動認証制度

学生消防団員を応援するため、1年以上継続的かつ真摯に消防団活動に取り組んだ学生に「学生消防団活動認証証明書」を発行します。学生は地域活動に貢献した実績を就職活動などでアピールすることができます。

消防団応援の店

団員と家族は「海老名市消防団応援の店」の対象店舗で割り引きなどのサービスを受けられます。「かながわ消防団応援の店」「全国消防団応援の店」もあります。



NEW 準中型免許取得補助金制度

【補助額】免許取得費用の上限20万円

例

普通免許を持っていない方	補助金制度利用の自己負担額	21万円
教習料金の目安 約41万円		
平成29年3月12日以降取得の普通免許を持っている方	補助金制度利用の自己負担額	1万円
教習料金の目安 約21万円		

海老名市消防団の消防ポンプ自動車の規格は総重量3・5ト以上です。運転には平成29年3月11日以前に取得した普通免許または、準中型免許以上の免許が必要です。

円滑な消防団活動や団員の定着率向上、団員数増加促進のため、今年度から、準中型免許取得費用の補助を始めました。自動車免許を持っていない人も対象です。

【対象者】準中型免許取得後原則5年以上消防団活動続けることを誓約できる方



第8分団班長・団員歴14年5カ月
会社員・40代



「かけがえのない経験」

消防団の活動は生死に関わることなので、入団する時はとても悩みました。入団から約15年、分団長や大規模災害、消防操法大会などさまざまな経験を通してやりがいを感じています。身の危険を感じた出勤もありましたが、これまで続けてこられたことは良い選択だったと思っています。

会社勤めなので平日の出勤などには出られないことが多いですが、団員同士で助け合っています。今は、これまでの経験を若い団員に引き継ぎながら活動を続けたいと思っています。



さまざまな人が活躍中



第4分団団員・団員歴4年7カ月
会社員・50代



「応援がやりがいに」

市の普通救命講習に参加した時に消防団の存在を知りました。消防団でAEDの講師をやりたいという一心で入団し、早4年が経ちました。あいにくコロナ禍で講師活動はできていませんが、お祭りの時の警戒や消火栓点検などたくさん活動をしてきました。

地域の皆さんからの応援はすごく励みになっています。巡回中に手を振ってくれたり、「頑張って」と書かれた手紙が第4分団宛てに届けられたこともあって、私の活動の活力になっています。



第1分団団員・団員歴9カ月
専門学校生・20代



「活動を通して成長」

中学生の時に消防職員の活動を目の当たりにしたことがきっかけで救急救命士になることが将来の夢になりました。今は消防関係の専門学校に通っています。

もっと消防のことを知りたい、地域の役に立ちたいと思って入団しました。地域とのつながりが増えたり、火災現場で交通整理を経験できたりと消防団に入ったからこそできた経験がたくさんあり、将来の夢に向けて成長できていると感じています。

これからも積極的に消防技術の習得に励みたいです。



水難救助用ボート

水害発生時に地域住民の避難補助ができるよう、市の防災備蓄倉庫などで7艇保管しています。



可搬ポンプ

大規模災害や河川敷火災など、消防ポンプ自動車だけの対応が難しい状況を想定した設備です。



消防ポンプ自動車

高い放水性能を有している消防ポンプ自動車で、全ての分団に配備されています。



分団器具置場

消防団の施設・装備

各種警戒や災害時の活動拠点で、分団ごとに1棟あります。車両や可搬ポンプなどの資機材を格納しているほか、平常時は分団会議などで活用しています。



令和5年度予算概要

コロナに打ち克つ、輝く未来へ飛躍するえびな

企画財政課 ☎(235)8453

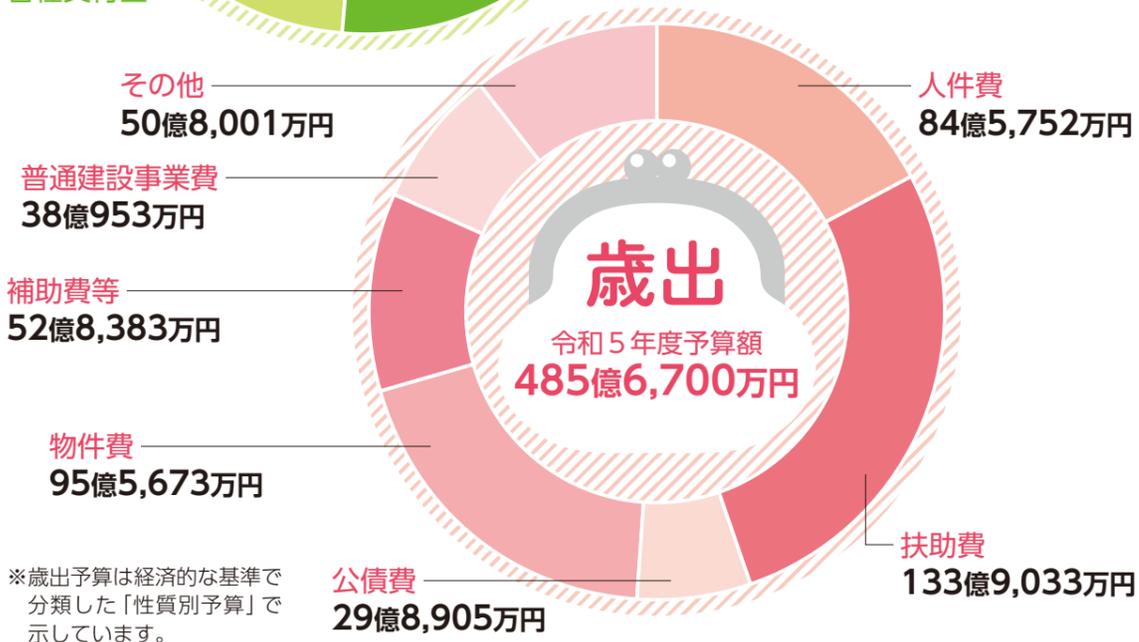
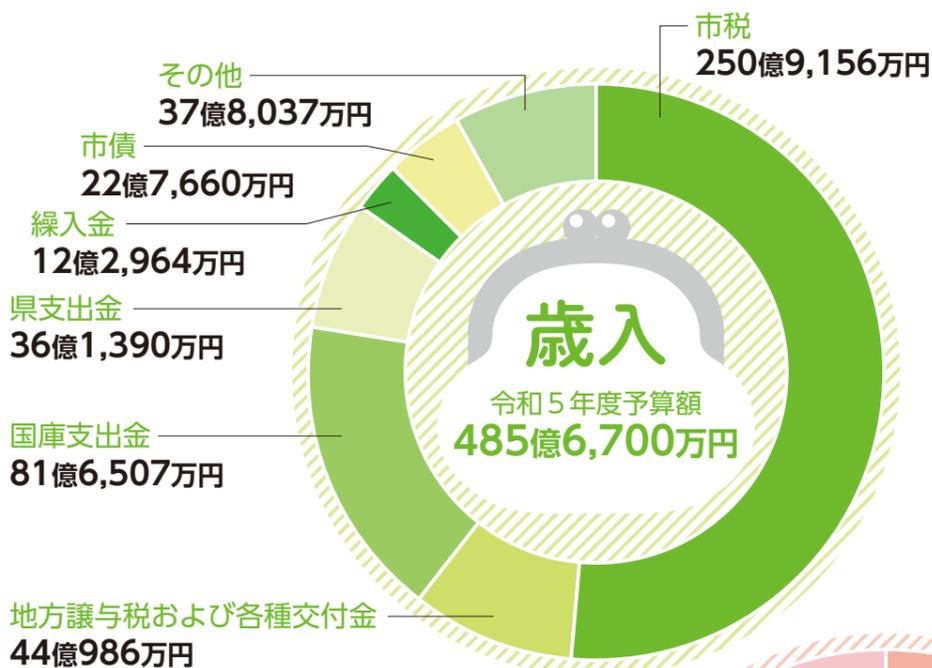


本市はこれまで、交通結節点という立地特性を生かした都市基盤整備を進めてきました。その結果、全国的に人口減少が始まっている現在でも本市の人口は増加を続け、まもなく14万人に達するなど、税収にも好影響を与えています。また、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行されることに伴い新たな局面を迎えます。

戦略的・積極的なまちづくりに取り組み、新型コロナウイルスと社会経済活動の両立を図るため、今年度の予算は「コロナに打ち克つ、輝く未来へ飛躍するえびな」をテーマに編成しました。

一般会計予算の内訳

一般会計予算額は前年度と比較し、23億8700万円、5.2%増の485億6700万円となりました。歳入は個人市民税・法人市民税・固定資産税の全ての税目が前年度より増加し、歳出は中学校給食の完全実施に向けた準備などの物件費と、子ども医療費助成の対象年齢の拡大などの扶助費の増加が特徴です。



令和5年度予算額

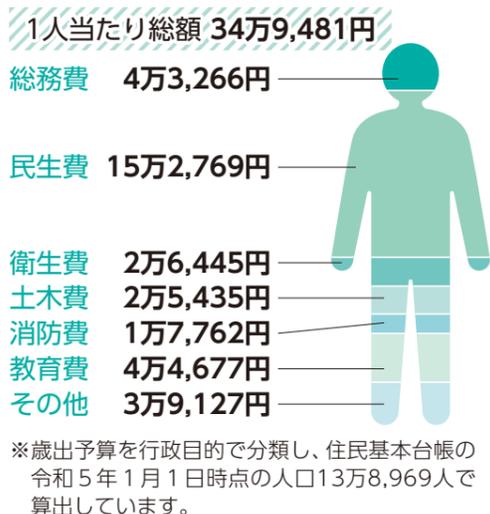
一般会計に特別会計と企業会計を加えた予算総額は約774億600万円です。2年連続で増加し過去最大となりました。

会計名	令和5年度当初予算額	対前年度伸率
一般会計	485億6,700万0,000円	5.2%
特別会計	238億9,996万1,000円	2.8%
国民健康保険事業	123億1,189万7,000円	0.8%
介護保険事業	92億3,778万3,000円	3.4%
後期高齢者医療事業	22億5,274万8,000円	7.1%
公共用地先行取得事業	9,753万3,000円	皆増
企業会計	49億3,897万4,000円	7.1%
公共下水道事業	49億3,897万4,000円	7.1%
令和5年度予算総額	774億 593万5,000円	4.5%

用語説明

- 「人件費」…市長や市職員の給与、議員や会計年度任用職員の報酬など
- 「扶助費」…障がい者や高齢者への支援、生活保護費など
- 「公債費」…市の借金である市債の返済に充てる経費
- 「物件費」…消耗品、業務委託料など
- 「補助費等」…各種団体への補助金など
- 「普通建設事業費」…道路などの整備や建物の建設に関する経費

市民1人当たりの予算の使い道 (目的別経費)



令和5年度主要事業

実施予定の主要事業と予算は次のとおりです。市でも積極的に取り組んでいる「SDGs」の各目標と関連する「令和5年度主要事業」の分野にアイコンを併記しています。



充実して暮らせるまち

駐車場の舗装整備工場の実施

新規 1億2600万円

文化会館・中央図書館・総合福祉会館利用者駐車場の未舗装部分を、排水設備を備えたアスファルトに舗装します。

国際化事業の充実

新規 260万円

外国籍住民アンケート調査や国際窓口設置により、市内在住の外国籍住民が安心して生活するための多文化共生事業を進めます。

豊かな学びを育むまち



不登校児童生徒の学習支援や心のケアの拡充

新規 1400万円

不登校校または不登校傾向の児童・生徒に、ICT学習ツールを活用した学習機会を保障します。



令和5年度予算トピック 令和4年度補正予算と一体的に編成

物価高騰に対する経済支援事業のプレミアム付商品券発行などの一部事業を、前倒しで実施しました。前倒しした事業の予算額は23億2300万円、令和5年度の一般会計予算額と合わせると508億9000万円になります。

健やかに暮らせるまち



子ども医療費助成の対象年齢の拡大

新規 6500万円

医療費の高額化や子育て環境を取り巻く情勢の変化に対応するため、対象年齢を満18歳に達する日以降の最初の3月31日までに拡大します。

帯状疱疹ワクチン、特定不妊治療の先進医療の費用助成

新規 980万円

市民の健康増進を図るため、帯状疱疹ワクチンの接種費用を助成

別室教室に支援員を配置し、児童・生徒の学習支援と心のケアなどを行います。

中学校完全給食の早期実施に向けた中学校給食の一部実施

新規 880万円

来年度の中学校完全給食実施に向けて、小学校給食を提供している食の創造館の予備能力を活用し、中学校給食の一部実施します。



安全で安心して暮らせるまち



消防署南分署建替事業の推進

3億6500万円

将来にわたり「安全・安心なまち」を維持するため、南分署の移転・建て替えを行います。

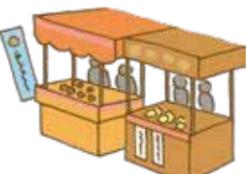
にぎわいがあり自然に優しいまち



にぎわい振興事業補助金の創設

新規 200万円

市のにぎわいをより一層創出するため、広く市民が参加できるイベントに補助金を交付します。



ゼロカーボンシティの推進

新規 860万円

令和32年度までにCO2排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を達成するため、温室効果ガス排出状況の把握や再生可能エネルギー導入可能性などを調査・検討します。

消防団員への免許取得費用の補助

新規 100万円

災害対応の体制強化を図るため、準中型免許の取得費用を補助し、消防団車両の機関連員の確保と団員加入促進に努めます。



かがやきを創造するまち



公共施設再編(適正化)計画の改定

340万円

既存資料の時点修正をするほか、社会環境や財政状況の変化、国の策定指針の見直しを踏まえた計画の改定を行います。

便利で快適に暮らせるまち



市役所周辺地区一般保留区域の市街化区域編入事業の推進

新規 1700万円

市役所周辺地区の一体的なまちづくりを推進するため、開発行為などの促進に向けた協議と、都市インフラの整備に関する協議や調整を進めます。

市道3号線道路災害防除事業の着手

新規 6600万円

道路脇や斜面の崩落に伴う事故を未然に防ぐため、表層剥離などのおそれがある国分北三丁目市道3号線に道路斜面安全対策を行います。



市職員用スマートフォンの導入

新規 1000万円

内線電話機能があるスマートフォンを導入することで、市民サービスの向上や災害時の業務体制強化、デジタル化の推進を図ります。

新たな発見ができるまち



スマホ市役所の実装

新規 720万円

市LINE公式アカウントをイベントの申し込みや各種申請などが24時間365日できる「スマホ市役所」としてリニューアルし、利便性の向上を図ります。



スマート申請の拡充

480万円

市民総合窓口と福祉総合窓口、オンライン上で手続きが完結するスマート申請を拡充し、利便性を図ります。

新型コロナウイルス感染症 関連情報

閩海老名市新型コロナウイルスワクチン接種専用ダイヤル ☎0570(097)050(ナビダイヤル)

令和5年春開始接種

集団接種会場と実施日時

市内3カ所の会場で下表のとおり集団接種を行います。使用ワクチンは2価ワクチン(モデルナ社製)です。個別接種は2価ワクチン(ファイザー社製)を使用し、5月8日(月)以降に準備が整った医療機関から順次開始します。国からの供給状況により使用ワクチンが変更になる場合があります。



対象者 初回接種済みの65歳以上の高齢者、基礎疾患のある方など

接種会場	えびな市民活動センタービナレッジ	北部公園体育館	海老名運動公園総合体育館
実施日	5月 18日(木)・19日(金)・22日(月)・25日(木)・26日(金)・29日(月)・30日(火)・31日(水) 6月 1日(木)・2日(金)・5日(月)・8日(木)	6月 3日(土)～8日(木)	5月 26日(金)～31日(水)
受付時間	13時30分～15時30分	10時30分～12時30分 14時30分～16時30分 (8日は14時30分から)	10時30分～12時30分 14時30分～16時30分

予約・変更・キャンセル方法

① 令和4年10月以降に市内の集団接種会場で接種を受けた65歳以上の方

接種日時と会場を指定した接種券を発送しています。予約は不要です。変更・キャンセルは、電話またはインターネットで手続きをしてください。

【予約変更期間】 電話／5月11日(木)・12日(金)9時～17時
インターネット／11日(木)9時～15日(月)7時

② ①以外の方

集団接種会場で令和5年春開始接種を希望する場合は予約が必要です。電話またはインターネットで受け付けます。接種日時と会場は予約時に確認してください。予約枠がなくなり次第終了します。

【予約開始日時】 5月15日(月)9時から

電話

海老名市新型コロナウイルスワクチン接種専用ダイヤルへ

☎0570(097)050(ナビダイヤル)

☎9時～17時(土)(日)(祝除く)

インターネット

海老名市コロナワクチン接種予約窓口へ

🌐 <https://covid19-wakuchin.jp/>

142158

🕒24時間



予約窓口ページ

「带状疱疹ワクチン接種助成事業」を開始

閩健康推進課 ☎(235)7880

皮膚に痛みを伴う発疹「带状疱疹」の発症予防と重症化リスク軽減のため、市の指定医療機関で接種する带状疱疹ワクチン接種費用の一部を助成します。助成回数は生ワクチンか不活化ワクチンのいずれかを生涯で1回です。詳細は、健康推進課へ問い合わせまたは市ホームページをご覧ください。

【対象者】 ①②を満たす方

① 50歳以上で市内に住民登録がある

② 同様の趣旨の助成を受けたことがない

【助成対象接種】 令和5年4月1日以降の接種

【接種方法】 各医療機関の予約方法に従って予約してください。窓口での支払い額は助成額を差し引いた額です。



【助成対象ワクチンの概要】

種類	生ワクチン (弱毒性水痘ワクチン)	不活化ワクチン (乾燥組換え带状疱疹ワクチン)
接種回数	1回	2回(接種間隔は2カ月)
接種費用	7,000円～1万円	1回2万円～3万円
助成額	3,000円	1回1万円計2万円



案内ページ

「海老名市若年がん患者在宅療養支援事業費給付金支給制度」を開始

閩健康推進課 ☎(235)7880

40歳未満の末期がん患者が、住み慣れた自宅で安心して生活できるように、在宅サービス利用料などの一部を支援します。



【対象者】 ①②③を全て満たす方

① 40歳未満で市内に住民登録がある

② 医師から末期がんの診断を受け、治療を目的とした治療を行わずに在宅生活をしている

③ 同様の趣旨の補助を受けていない

【支給対象サービス】

① 在宅で生活するために必要な医療・福祉サービスで、保険適用外のもの(例：身体介護・訪問入浴介護・通院などの乗降介助・生活援助など)

② 福祉用具・介護用品の貸与または購入(例：車いす・特殊寝台・床ずれ防止用具・体位変換器・歩行補助つえなど)

【支給額】 経費の10分の9、上限5万4000円/月

【申し込み方法】 申込用紙を郵送または直接健康推進課へ。用紙は同課で配布または市ホームページからダウンロード可

「広報えびな」の共通マークとルール

📅 日日時・日にち 🕒 期間 時時間 📍 場所 🎯 対象 定員 内容 🗣️ 講師 費用 🎒 持ち物 🗂️ その他 📅 任期

📄 条件 📌 主催 📧 Eメール 🌐 ホームページ 📞 問い合わせ 📄 申し込み 📅 予約制 🗓️ 祝日を除く 🛌 休み

👴 高齢者対象の教室など

🏠 えびな健康マイレージ対象

市外局番…省略しているものは全て「046」です
市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492 海老名市役所〇〇〇課行」で届きます
市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

「海老名の魅力川柳」を募集

関シテイプロモーション課
☎(235)4574

市の魅力を詠んだ川柳を募集します。作品は「住みたい 住み続けたいまち 海老名」を発信するため、市のさまざまな媒体で活用します。

【対象】市内在住・在勤・在学の方
【応募点数】1人5点まで
【応募内容】五・七・五で市の魅力を伝える川柳
【応募方法】応募用紙を、郵送または直接シテイプロモーション課へ。市ホームページから可。用紙は同課で配布のほか、市ホームページからダウンロードできます。5月31日(水)締め切り(消印有効)

応募作品は市の媒体などで活用します。



案内ページ

- 市役所エントランスホールに展示
- 「広報えびな」に掲載
- フェイスブックなど、市の公式SNSで活用
- 割りばし袋のデザインに採用し、市内飲食店などで配布



市職員を募集

関職員課
☎(235)4502

下表のとおり市職員を募集します。採用予定はいずれも若干名です。試験日時などの詳細は、受験案内または市ホームページをご覧ください。受験案内などの配布、エントリーシートの受け付けは次のとおりです。



案内ページ

- ◆ 受験案内・エントリーシート配布
期5月1日(月)～16日(火)
(日)(祝)除く
時9時～17時
場職員課
他市ホームページからもダウンロード可
- ◆ エントリーシート受け付け
期5月1日(月)～16日(火)
(消印有効)
- 受験案内に記載の方法で市LINE公式アカウント「海老名市」から情報登録した上で、エントリーシートを職員課へ郵送

職種	受験資格	採用予定時期など
一般事務職	社会人	令和6年4月1日
	上級	
	育児休業代替任期待(兼)任期待(上級)	10月1日以降、3年を限度として職員の育休期間に応じて決定(任期待は1年)
保健師	上級	令和6年4月1日
技術職(土木・建築・電気)	上級	令和6年4月1日
保育士	育児休業代替任期待(兼)任期待	10月1日以降、3年を限度として職員の育休期間に応じて決定(任期待は1年)
自動車運転士(清掃(ごみ収集作業員))	任期待	10月1日以降(任期待は1年)
業務員(清掃(ごみ収集作業員))(障がい)	任期待	

市長タウンミーティング 実施報告

関企画財政課 ☎(235)4634

市民と市長が対話する市長タウンミーティングを各地域で行いました。主な意見や質問、市の回答を抜粋してお知らせします。

- 【期間】2月4日～3月25日(土)(日)
- 【場所】コミセンなど市内14会場
- 【参加人数】493人



会場 下今泉コミセン

郷ノ泉橋の新設で新たな十字路ができる。利便性は向上するが、交通事故増加の可能性も高まったため、信号機を設置してほしい。

昨年、信号機の設置について神奈川県警察に要望しましたが、基準に該当しないため不可能とのことでした。一時停止線を見えやすくする、現地で啓発活動をするなど、交通指導員や海老名警察署と協力して、市でできる限りの注意喚起をしていきます。

会場 大谷公民館

大谷地区はハザードマップで土砂災害警戒区域に指定されているが、避難所である大谷中学校の校庭は大雨が降ると水たまりができて車の避難が心配。現在考えている対策は。

災害の種類によって開設する避難所を判断しています。大谷中学校グラウンドは土砂災害警戒区域にかかっているため、大雨の時には駐車場として開放しないようにします。土砂災害の対策は順次行っていきます。

会場 上今泉コミセン

市役所周辺の市街化編入について、一般住宅を建てる土地の分譲はあるか、商業施設のみか確認したい。

市役所周辺の40分の区域は複数にブロック分けし、土地区画整理事業や民間開発を行う予定です。土地区画整理事業の予定区域では、戸建て住宅や集合住宅、商業施設の建築を想定していると考えています。

会場 本郷コミセン

市道8号線は大型トラックの交通量が多いが道幅が狭いためすれ違いが困難で、渋滞の原因になっている。路面の凹凸もあり、部分的な舗装や振動などの問題も発生している。順次整備をしていると思うが、早期の完成を希望する。

市道8号線の沿線には住宅が密集しているため、実施できる箇所から順次進めています。歩道整備終了後に、振動対策や下水道の整備を行います。

会場 国分コミセン

最近、強盗などが増えていると感じており、とても不安。防犯カメラを増やしてほしい。また、現在市内には何台設置されているか教えてほしい。

防犯カメラは駅周辺に約70基、その他の地域に約100基設置しています。1人暮らしの人や高齢者には、カメラ付きインターホンの設置費用の補助を検討するなど、警察署とも相談しながら対応していきます。

会場 国分寺台文化センター

豊かな自然のある杉久保地区や(仮称)大谷・杉久保地区公園の整備について市長の考えは。

自然に囲まれている杉久保小学校を中心に杉久保地区を緑の拠点にしたいと思っています。新たに整備予定の公園は海老名サーブエリアから近いので、公園にも駐車場を整備し、公園と海老名サーブエリアを多くの方に利用していただきたいと思っています。

会場 上郷自治会館

近隣市にはスケートボードの練習場があるが、市内にはないため作ってほしい。

スケートボードは騒音などの課題もあることから、設置場所について、運動公園や縦貫道路の高架下も含めて研究をしています。設置する場合には、土地所有者や関係機関などの調整許可が必要となるため、調整を行いながら研究を進めていきたいと考えています。

健康講座

健康推進課 ☎(235)7880



初夏の海老名耕地を散策しよう

今福薬師門公園や市役所周辺を歩き、野草を観察しながら海老名耕地の成り立ちを学びます。

日 5月17日(水) 9時～12時(小雨決行・雨天中止) 市内在住の方 定 先着20人 内 コー ス 海老名中央公園、七重の塔(集合) ↓ 今福薬師門公園 ↓ 三日月地 ↓ 市役所(解散) 主催 健康えびな普及員会



地場産野菜を使った食育講座 「自宅で野菜苗を育てよう」

日 6月6日(火) 14時30分～15時30分
場 JAさがみ海老名グリーンセンター(大谷246)
市内在住・在勤の方 定 20人
食生活改善推進団 体えびな会
申 5月26日(金) 締め切り
他 応募多数の場合は抽選



共通事項

費 無料
申 5月2日(火) から、電話または直接健康推進課へ

びなウエル健康教室

健康推進課 ☎(204)4560



アクティブクラス

「運動して栄養を正しく取る！運動と食の特別体験！」

現役スポーツトレーナーと運動後、美腸活カフエに移動し、試食を交えて運動に効果的な栄養の取り方を学びます。

日 6月3日(土) 14時～16時15分 場 文化会館大練習室、L for You AOYAMA 海老名店(めぐみ町3) ビナガーデンズパーチ 3階 市内在住の方 定 15人 講 スポーツトレーナー(理学療法士)、管理栄養士 申 5月24日(水) 締め切り 他 小学生以下は保護者同伴

レクチャークラス「花粉症について」

花粉症の治療や予防方法を話します。

日 6月17日(土) 14時30分～15時30分 場 びなウエル(めぐみ町3) ビナガーデンズパーチ6階 市内在住の方 定 20人 講 井戸光次朗氏(海老名こじろう耳鼻咽喉科海老名病院院長) 申 6月9日(金) 締め切り

エクササイズクラス「しなやか！美ボディストレッチ」

心も体も健やかにするエクササイズをします。

日 6月24日(土) 10時～11時10分 場 えびな市民活動センター ビナスポ 市内在住の方 定 30人 講 山口薫氏(健康運動指導士) 申 6月16日(金) 締め切り

共通事項

費 無料 申 5月8日(月) から。(月)(水)(金)は13時～20時、(土)(日)(祝)は10時～20時に、電話または直接びなウエルへ 他 応募多数の場合は抽選。駐車場の利用は有料です



こころとカラダの健康教室「ともの輪」



岡地域包括ケア推進課 ☎(235)4950

参加者同士で交流しながら、年間を通して認知症介護予防のための脳トレーニングや健康体操をします。都合の良い日に直接会場へ。詳細は、海老名市社会福祉協議会 ☎(232)1600へお問い合わせください。

日 場 左表のとおり
市内在住の方 65歳以上の方 定 先着10～20人程度
費 無料
持 上履き(スリッパ不可)、飲み物
他 一部施設の駐車場の利用は有料です

曜日	開始日	時間	会場
第1・3(月)	5月1日	10時～11時30分	社家自治会館
		13時30分～15時	大谷コミセン
第2・4(月)	5月8日	10時～11時30分	杉久保コミセン
			柏ヶ谷コミセン
第1・3(火)	5月2日	10時～11時30分	国分北集会所
第2(火)(8月のみ第4(火))	5月9日	10時15分～11時30分	勝瀬文化センター
		13時30分～15時	総合福祉会館
第1・3(水)	5月17日	10時～11時30分	上郷自治会館
第2・4(水)	5月10日	10時～11時30分	国分中央自治会館
		13時40分～14時40分	上今泉コミセン
第1・3(木)	5月18日	10時～11時30分	本郷コミセン
		13時30分～15時	総合福祉会館
第2・4(木)	5月11日	10時～11時30分	中野あいあい館
		13時30分～15時	総合福祉会館
第1・3(金)	5月19日	10時～11時30分	門沢橋コミセン
		13時30分～15時	中新田自治会館
第2・4(金)	5月12日	10時～11時30分	中新田コミセン



シニアから始める健康づくりへの取り組みに



岡地域包括ケア推進課 ☎(235)4950

高齢者生きがい教室

「手芸教室」(全6回)

リバースキルトバッグを作ります。

日 5月23日～6月27日の毎週(火) 10時～12時

講 日比野洋子氏(パッチワーク講師)

費 2800円(材料費) 申 5月15日(月) 必着



高齢者生きがい教室

共通事項

場 第一高齢者生きがい会館 市内在住の方 60歳以上で、全日程参加できる方 定 10人 申 往復はがき(1人1枚)の返信用表面に住所・氏名を、往信用裏面に教室名・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、〒243-0410 杉久保北2-3-4 第一高齢者生きがい会館 〇〇教室係へ 他 応募多数の場合は抽選。詳細は、海老名市シルバー人材センター ☎(237)3001へお問い合わせください

ビナスポでアクアウォーキング(全6回)

水中ウォーキングのこつを身に付けます。

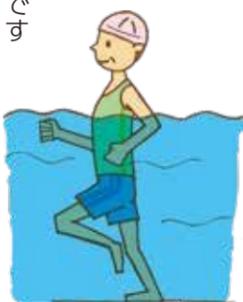
日 6月30日～8月4日の毎週(金) 13時30分～15時

場 えびな市民活動センター ビナスポ

市内在住の方 65歳以上の方 定 20人 費 無料

申 電話で地域包括ケア推進課へ。5月22日(月) 締め切り

他 初めての方優先。応募多数の場合は抽選。駐車場の利用は有料です



募集

親子で学ぶはじめての統計
グラフ講座「かずをみせる」

図 IT推進課 ☎(235)4698

工作感覚で統計グラフを作ります。保護者にはお子さんをサポートすることをお伝えします。内容は小学校3年生程度で、各回同じです。

日7月1日(土)・2日(日) ①10時～11時30分 ②13時～14時30分 ③15時15分～16時45分 場 市役所702会議室 対 市内在住・在学の小学生と保護者 定 各回15組 費 無料 申 5月8日(月)から、原則市ホームページで。19日(金)締め切り 初 初めの方優先。応募多数の場合は抽選



申し込みページ



えびな文化財探求舎講演会
「近代の海老名周辺における
鉄道敷設と沿線開発」

図 教育総務課 ☎(235)4925

日 5月21日(日)10時～12時 場 市役所401会議室 定 60人 対 浜田弘明氏(海老名市文化財保護審議会会長) 費 無料 申 5月2日(火)から、市ホームページで。郵送の場合は、往復はがきで、返信用表面に住所・氏名を、往信用裏面に住所・氏名・フリガナ・電話番号を記入し、〒243-0422中新田377海老名市教育総務課文化財係へ。15日(月)締め切り(必着) 初 応募多数の場合は抽選



申し込みページ

広報えびな 点字版・音声版

図 障がい福祉課 ☎(235)4813

広報の文字が見えにくい方にお送りします。

農地パトロール実施中

図 農業委員会事務局 ☎(235)4907

農地を守るため、市内全農地の巡回パトロールを行っています。農業委員などが調査のために農地に立ち入る場合があります。ご理解とご協力をお願いします。遊休農地は近隣へ悪影響を及ぼす可能性があります。所有者は除草や病害虫の駆除など、適正な管理をお願いします。

特定計量器の定期検査

図 (公社)神奈川県計量協会 ☎045(401)2711

取引または証明に使用している「特定計量器(はかり)」は、計量法で定期検査が義務付けられています。使用している人は、期間内に定期検査を必ず受けてください 開【大型】6月5日(月)～30日(金)【小型】7月24日(月)～8月31日(木)

相続登記申請
来年4月から義務化

図 横浜地方務局 ☎045(641)7465

令和6年4月1日から、相続登記の申請が義務化されます。未登録の土地や建物がある人は、早めに手続きをしてください。詳細は、横浜地方務局へお問い合わせまたは法務省ホームページをご覧ください。

城山ダム洪水対応演習

図 城山ダム管理事務所 ☎042(782)2831

5月9日(火)・10日(水)に、ダム放流による事故防止のための洪水対応演習を行います。当日は、市内の警報所からスピーカー放送やサイレンなどが流れます。実際の放流は行いませんので、お間違えのないようご注意ください。大雨の時は中止になる場合があります。

家庭系燃やせるごみ搬入量
(4月～3月分)

図 環境政策課 ☎(235)4923

今年度	17,015.72t
前年度	17,080.42t
前年度比	-0.4%

道路上に張り出している
樹木は剪定・伐採を

図 道路管理課 ☎(235)9381

歩道や車道に張り出している樹木は、通行に支障を来すことがあります。枝葉との接触などが原因の事故は、所有者の責任になることもあります。樹木の定期的な剪定や伐採にご協力をお願いします。



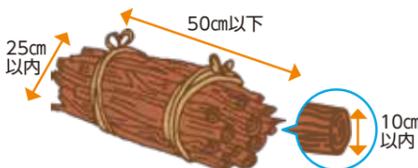
剪定枝の戸別収集は申込制

図 資源対策課 ☎(235)4922

剪定枝は、資源物として無料で収集しています。事前に電話で申し込みが必要です。指定した場所に規定の大きさに束ねて出してください。

申 剪定枝収集専用ダイヤル(☎238・2120、(日)除く9時～16時)へ

【既定の大きさ】



骨髄などの移植を推進
ドナーとドナーの勤務先に
助成金を交付

図 健康推進課 ☎(235)7880

骨髄などの提供者(ドナー)の通院・入院と、ドナーが勤務する事業所に上限7日間の助成金を交付します。

対 ①～④の要件を全て満たすドナーと事業所。①令和4年4月1日以降に骨髄などの提供を完了した②勤務先にドナー休暇制度がない③提供した日に市内に住居登録がある④同様の趣旨の助成を受けていない 図【ドナー】1日2万円【事業所】1日1万円 申 提供完了の翌日から1年以内に、申請書を直接健康推進課へ。申請書は同課で配布のほか、市ホームページからダウンロード可

令和5年度市・県民税
納税通知書などを送付

図 市民税課 ☎(235)8594

今年度の市・県民税納税通知書を6月上旬に発送します。給与特別徴収の税額決定通知書は、5月中旬に勤務先へ発送します。

スズメバチ類の巣
除去処理費を一部助成

図 環境政策課 ☎(235)4912

スズメバチ類の巣を市の登録業者に依頼して除去したときの処理費用を一部助成します。上限額は1万1,000円です。詳細は、環境政策課へ問い合わせまたは市ホームページをご覧ください。

対 市内在住または市内に土地・家屋を所有している方、マンション管理組合の代表者 申 除去処理後、申請書などを直接環境政策課へ。書類は登録業者から配布

5月は自転車マナーアップ
強化月間

「自転車も のれば車の なか
まいり」「ヘルメット かぶる
だけでも 救える命」

図 地域づくり課 ☎(235)4789

ことし4月1日から、道路交通法の改正により、自転車利用者の乗車用ヘルメット着用が努力義務となりました。自転車の交通ルールを守り、マナー向上を心掛けましょう。また、点検整備をし、自転車損害賠償責任保険などに加入しましょう。

5月11日～20日
春の全国交通安全運動

図 地域づくり課 ☎(235)4789

「安全は 心と時間の ゆとりから」をスローガンに、春の全国交通安全運動を実施します。また、5月20日(土)は「交通事故死ゼロをめざす日」です。正しい交通マナーとルールを実践しましょう。

お知らせ

温故館を休館

図 海老名市温故館 ☎(233)4028

5月8日(月)は、定期清掃のため休館します。

5月は消費者月間
「デジタルで快適、消費生活
術～デジタル社会の進展と
消費者の暮らし～」

図 市民相談課 ☎(235)4567

社会のデジタル化が進むことで生活が便利になり楽しみ方の幅も広がる一方で、SNSやネット通販のトラブルなどが増えています。デジタルサービスの仕組みやリスクへの理解を深めて、トラブルを未然に防ぎましょう。消費生活に関する疑問や不安は消費生活センター(☎292・1000)へ相談してください。

かしまい台跨線橋の歩道から、かしまい台駅駅舎を撮影

昭和60(1985)年

第28回
橋

「駅」「史跡」「公園」「暮らし」などから、海老名の「あの時」「あの場所」を写真でつづります。

かしまい台跨線橋

初代かしまい台跨線橋は、昭和50(1975)年、相鉄線かしまい台駅の開業とともに設置された。道幅が狭く、渋滞が多いなどの理由で架け替えになり、平成9(1997)年3月、二代目が開通。長さ・幅を2倍以上に拡張して大型車の通行を可能にし、両側には歩道を設けた。安全性を高めた跨線橋は、現在も周辺住民や駅利用者などにとって欠かせない橋となっている。
一面畑だったこの一帯は上今泉地区とつながることで活気づき、住み良いまちへと変化した。

5月は赤十字運動月間
パネル展など

5月の赤十字運動月間に合わせ、募金の呼び掛けやボランティア団体の活動紹介をします。
◆募金
自然災害などで被災した人の援護・医療活動や見舞金の支給など、日本赤十字社の社会福祉事業に募金を活用します。ご協力をお願いします(5月1日(月)～31日(水)(土)(日)祝除く) 〇福祉政策課

◆赤十字奉仕団パネル展
海老名市赤十字奉仕団の活動を紹介します(5月25日(木)～31日(水)(最終日は12時まで) 〇市役所エントランスホール

第41回海老名市さつき展

〇都市施設公園課 ☎(235)9489
市の花「サツキ」の普及や緑化推進を目的とした、海老名市さつき研究会による展示会です。ぜひご来場ください。
〇5月23日(火)・24日(水) 〇市役所エントランスホール



電話の掛け間違いにご注意を

市役所へ電話の際は、電話番号を確認の上、掛け間違いのないようお願いします。

市では、自主財源確保のため広告を掲載しています。掲載のお問い合わせは、(株)横浜メディアアド(☎045・450・1808)へ。

第44回海老名市総合体育大会
水泳の部参加者

〇文化スポーツ課 ☎(235)4927
〇6月18日(日)10時から 〇海老名運動公園屋内プール 〇市内在住・在勤・在学の方 〇【個人種目】1人1,000円 〇【リレー】1種目1,000円 〇郵送の場合は、往復はがきで、返信用表面に住所・氏名を、往信用裏面に住所・氏名・ふりがな・性別・年齢・電話番号・学校名・学年・種目(リレーはチーム名)を記入し、〒243-0418大谷南2-24-38海老名市水泳協会加藤へ。メール(ebinasui01@yahoo.co.jp)でも可。5月15日(月)必着 〇リレーを除き、1人2種目まで。リレーは代表者が申し込み。詳細は、市総体水泳の部ホームページ(〇http://ebinasuiei.web.fc2.com)をご覧ください。駐車場の利用は有料です

催し

民生委員・児童委員パネル展示
「支えあう 住みよい社会
地域から」

〇福祉政策課 ☎(235)4820
「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」に合わせ、地域の身近な相談相手である民生委員・児童委員の活動を紹介します。
〇5月15日(月)～19日(金)(初日は10時から、最終日は15時まで) 〇市役所エントランスホール

傾聴力アップ&アンガーマネジメント入門セミナー

〇市民相談課 ☎(235)4568
自分らしく人とつながることで前向きに生きるための考え方を学び、90分2コマのセミナーです 〇6月3日(土)時①13時～14時30分②15時～16時30分 〇市役所702会議室 〇市内在住・在勤・在学の方 〇定先着50人 〇内①信頼されるための傾聴力～相手を理解するコミュニケーションスキルを身に付ける～ノノ瀬史子氏(NPO日本キャリア・コンサルタント協会理事)②イライラしないためのアンガーマネジメント～自分の感情と上手に付き合うコツを知る～ノ畑 さち子氏(アンガーマネジメントコンサルタント) 〇5月2日(火)から、電話で市民相談課へ。市ホームページからも可 〇2歳～就学前、若干名の託児あり。要予約。5月12日(金)締め切り

国土交通大臣認定 福祉有償
運送運転者講習「外出支援担
い手養成講座」(全3回)

〇福祉政策課 ☎(235)4820
高齢者などの外出支援に必要な知識や、介助・運転スキルなどを講義や実習で学びます 〇①6月16日(金)②18日(日)③21日(水) 〇時10時～16時 〇場①③市役所401会議室②総合福祉会館 〇市内在住で全3回参加できる方 〇定先着36人 〇認定NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク役員など 〇無料 〇5月2日(火)から、電話で福祉政策課へ 〇修了者には認定講習修了証を交付します。文化会館駐車場の利用は有料です

普通救命講習〔Ⅰ〕〔Ⅲ〕・
上級救命講習

〇警防課 ☎(231)0932
◆普通救命講習〔Ⅰ〕
心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)の使い方を学ぶ講習。講習時間は3時間。
◆普通救命講習〔Ⅲ〕
主に乳児・小児に対する心肺蘇生法とAEDの使い方を学ぶ講習。講習時間は3時間。
◆上級救命講習
普通救命講習〔Ⅰ〕に筆記試験・実技試験が加わるほか、乳児・小児に対する心肺蘇生法、三角巾の使い方、骨折やけなどなどの処置方法と搬送方法を学ぶ講習。講習時間は7時間。
〇〔Ⅰ〕6月24日(土)9時～12時〔Ⅲ〕8日(木)9時～12時〔上級〕15日(木)9時～17時 〇場本署 〇市内在住・在勤・在学の中学生以上の方 〇定各回先着16人 〇無料 〇5月9日(火)9時から電話で。24時間受け付け 〇修了者には修了証を交付します。災害発生時などは中止・変更になる場合があります



担い手養成講座
「アクティブライフ
応援セミナー」(全13回)

〇地域包括ケア推進課 ☎(235)4950
地域社会の現状と課題や、仲間づくりの方法などを学びます。修了者には修了証を交付します。修了後は地域でボランティア活動に参加します。
〇7月4日(火)～令和6年2月14日(水)のうち13日 〇時13時～15時 〇場総合福祉会館 〇受講後にボランティアとして活動できる市内在住の40歳以上で、全13回参加できる方 〇定先着20人 〇無料 〇事前に地域包括ケア推進課とルネサンス海老名ビナガーデンズ24(めぐみ町3-1ビナガーデンズパーチ9階)で配布の実施要領を確認し、5月2日(火)から、電話またはメールでルネサンス海老名ビナガーデンズ24(☎232・6670 〇r-2970@s-renaissance.co.jp)へ。31日(水)締め切り 〇駐車場の利用は有料です



募集

えびなSDGs懇話会会員

〇環境政策課 ☎(235)4912
市内の団体と事業者で組織を構成し、市のSDGs推進に向けて意見交換などをします。
〇SDGs達成のための活動をする市内の団体と事業者 〇定5団体程度 〇応募用紙を、郵送または直接環境政策課へ。用紙は同課で配布のほか、市ホームページからダウンロード可。5月26日(金)締め切り(必着) 〇活動は年に1～2回程度。報酬はありません

クックパッドで料理レシピを
公開中

〇健康推進課 ☎(235)7880

市管理栄養士などが考案したレシピをクックパッド市公式ページ「えびなkitchen」に掲載し、
〇随時更新しています。



4月26日公開レシピ
イチゴの豆乳ブランマンジェ

第5回
えびな
SDGs

持続可能なより良い未来の実現を目指し、できることから始めてみませんか。
SDGsの17の目標を毎月1日号で紹介します。

〇環境政策課 ☎(235)4912

私たちに
できること



◆目標5 ジェンダーとは、生物学的な性別でなく、社会的・文化的な性差を意味します。日本のジェンダー・ギャップ(男女格差)指数は世界146か国中116位で、先進国の中でも低水準です。特に「経済」「政治」分野の順位が低く、重点的に取り組むべき課題です。あらゆる性差別をなくし、不平等が生じない社会を目指しましょう。

ジェンダー平等を理解する

書籍やホームページ、セミナーなどで理解を深め、それぞれができる取り組みを考えてみましょう。市でも「男女共同参画」のPRやセミナー・イベントの開催をしています。詳細は、市ホームページをご覧ください。



男女共同参画
案内ページ

家庭や職場での役割を見直す

家庭では、夫婦・家族間の仕事や家事、育児の負担が偏らないよう役割を分担しましょう。職場では、性別により活躍の機会に差が出ないような環境づくりをしましょう。



スマホの基本操作を体験 シニア向け「スマホ教室」

☎ デジタル推進課 ☎ (235) 8400

デジタル化への不安がある人に向けた教室です。スマートフォンの基本操作やLINEアプリの使い方を体験しながら学びます。端末は貸し出します。



日場 5月16日(火)／柏ヶ谷コミセン、22日(月)／杉久保コミセン

時 13時～15時

対 市内在住の65歳以上でスマートフォンを持っていない、または操作が不慣れな方

定 各回先着20人

費 無料

申 5月8日(月)9時から、電話でデジタル推進課へ。10日(水)締め切り

他 初めての方限定。公共交通機関をご利用ください。柏ヶ谷コミセンの駐車場はありません



市LINE公式 アカウントの登録を

市LINE公式アカウントでは受信設定から欲しい情報を選択できるほか、各種申請や、イベント・講座の予約などができます。登録は二次元コードを読み取るか、LINEアプリ内で「海老名市」を検索してください。



市LINE公式アカウント
「海老名市」



「デジタル コンテスト」 アイデア募集中

困りごとを解決するためのデジタル化のアイデアを募集しています。5月26日(金)締め切り。

世帯数と人口 (令和5年4月1日現在)

世帯数
61,454世帯
(59,899世帯)

人口
139,739人
(137,987人)
男 70,199人
(69,312人)
女 69,540人
(68,675人)

※()内は前年同月
(令和4年4月)の値

今月の納税・納付 (納期限5月31日(水))

- 固定資産・都市計画税[1期]
- 軽自動車税(種別割)[全期]
- 市営住宅使用料[5月]
- 保育所保育料[5月]
- 小学校給食費[1期]

納付は、口座振替が便利です。

今号の題字

えびな

おいしいイチゴがとれる海老名が大好き。
社家小学校 ^{うんのなぎさ} 海野凧咲さん(10歳)



編集
雑記

消防団員の方にお話を聞いた中で、消防団の活動と仕事・学業との両立は簡単ではないと思ったと同時に、`地域のために、という強い思いも伝わってきて、頼もしさを感じました。市の団員数は減少傾向です。今号の特集を読んで消防団に興味を持ってくださる方が一人でも多くなると嬉しいです。(た)